



国内で試験中の南極向け用

WPC、DLC処理の複合技術

昨秋、相模原市大野台に竣工した工業団地「協同組合Sia神奈川」は、ワイナリー跡地に建設された。すっかり様変わりした景観の中で、組合のロゴマークにあしらわれたぶどうが唯一その名残と思いきや、実はそうではない。

金属表面の耐摩耗性や強度を劇的に向上させる特殊加工を手掛ける㈱不二WPC(大野台4-1-83、下平英二社長)の本社・工場は、ワイナリーの醸造所兼販売所であった建物そのものだ。造成を前に取り壊しが決まっていたが、下平社長が気に入って「購入」。これにより団地内での同社の配置も決まった。「費用節約のためでは

ない。堅年な構造、機能的な間取りなど、新しい事業所にふさわしい物件だった」と下平社長は話

平社長が同社を設立したのは1997年。きっかけは、取引先であった㈱不二機販(名古屋)が

の表面に、目的に応じた材質の微粒子を圧縮性の気体に混合して高速衝突させることにより、最表面で急熱・急冷が繰り返され、微細で韌性に富む緻密な組織が形成される

性を大幅に向上させる。WPC処理の独創性と将来性に惚れ込んだ下平社長は、創業の地をあらって厚木市に定め、トヨタ以外の自動車関連企業に幅広く営業活動をスタート

子が状況を一変させた。処理対象を、生産ライン等で使う切削工具や金型からエンジン、駆動系パーツへと広げること、短期間で明らかなる効果をj見せつけることに成功。その後、メーカー各社の市販乗用車にもその技術が広くフィードバックされている。また同社ではWPC処理後に、摩擦低減用コーティング技術として注目されているDLC処理を施す複合技術を開発。これにより、切削工具、金型など、対象物の強度や耐久性、ポツ分野へのアプローチ



人と企業群 (株)不二WPC



「会社を大きくしない」が哲学の下平社長

「会社を大きくしない」が哲学の下平社長。その後、メーカー各社の市販乗用車にもその技術が広くフィードバックされている。また同社ではWPC処理後に、摩擦低減用コーティング技術として注目されているDLC処理を施す複合技術を開発。これにより、切削工具、金型など、対象物の強度や耐久性、ポツ分野へのアプローチ

大和市長は12月17日、東京都町田市と「災害時における相互応援に関する協定」を締結した。大規模災害が発生した際の応急対策や復旧活動などで相互応援を行う協定の提供をはじめ避難所やごみ焼却施設などの相互利用、職員の派遣、ボランティアの斡旋などを盛り込み、大木哲市長が町田市役所を訪れ、石阪丈

す。なるほど、大した改修も施していないが、小所帯には必要にして十分。しかも瀟洒なデザインで、居心地もよい。名古屋でトヨタ自動車系の商社に勤めていた下

開発した極めてユニークな金属処理技術、WPCとの出合いだ。WPC処理とは、金属

というメカニズムを適用化したもので、機械部品から切削工具、金型など、対象物の強度や耐久

当初はかなりの苦戦を強いられたが、モータースポーツ分野へのアプローチ

合技術を開発。これにより、切削工具、金型など、対象物の強度や耐久性、ポツ分野へのアプローチ

手製造業)の技術者約500人に県内の中小、中堅企業80社が自社技術などをアピールする展示会

軽量・小型化が図れるうえに、設計の自由度が増す。〇九年度の「元気なものづくり企業300社」にも選ばれ、このほど新

「相模原」▽マイクロテック・ラボラトリー(株)(上鶴間本町)小型・高分解能ロータリーエンコーダ。▽エイト技工(株)(水川町)3D-CADによる構造設計、SH3/4/H8マイコンの組み込みソフト開発。▽(株)ジェイパーソン(SIC) A D I B I a c k f i n p r o c e s s a